



2023年4月11日

各 位

会社名 株式会社ツインバード
代表者名 代表取締役社長 野水 重明
(コード番号 6897 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員企画管理本部本部長 渡邊 桂三
(TEL 0256-92-6111)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年4月13日に公表いたしました2023年2月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年2月期 通期連結業績予想 (2022年3月1日～2023年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,000	280	240	170	16.07
今回発表予想 (B)	10,930	40	143	69	6.58
増減額 (B-A)	△2,070	△240	△97	△101	
増減率 (%)	△15.9	△85.7	△40.4	△59.4	
(参考) 前期実績 (2022年2月期)	12,869	719	610	419	39.64

2. 修正の理由

上期は、新型コロナワクチン接種に伴うワクチン運搬庫の大型案件の需要が一巡したことに加え、サプライチェーンの脆弱化、原価高騰及び急激な為替変動などにより、売上高は4,805百万円(前年上期7,080百万円)、営業利益は480百万円の損失となりました。一方、下期は、昨年9月に実施した販売価格の改定、中型冷蔵庫など大型新製品の投入及び拡販に加え、大幅な原価低減を実施、さらにローコストオペレーション徹底による経費削減を実行した結果、売上高6,124百万円(前年下期5,789百万円)、営業利益521百万円と上期と比べ大きく業績回復する見込みであります。しかしながら、当第4四半期連結会計期間において家電製品を含む耐久消費財の需要が低迷したことにより、前回(2022年4月13日)公表しました通期業績予想数値には届かない見込みであります。また、営業外収益として為替相場の変動により為替差益106百万円を計上するため、経常利益は143百万円の見込みであります。

なお、配当予想につきましては、現時点におきまして修正はございません。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上